

第4回定例会は12月3日(月)から

● 本会議・委員会の傍聴は気軽に

手話通訳を希望される方は、傍聴を希望する2日前までに府中市議会事務局にお申し込みを。車いす用の席もございます。

● 府中市議会についてのお問合せ

府中市議会事務局 議事係 ☎(042)335-4507

スマートフォンやタブレット端末をご利用の方は、右の二次元コードから本会議の中継をご覧いただけます。



詳しくは

● 第4回定例会(主な予定) ●

【12月】

- 3日(月) 本会議(委員会付託等)
- 4日(火)・5日(水) 本会議(一般質問)
- 6日(木) 総務委員会
- 13日(水) 市庁舎建設特別委員会
- 18日(火) 本会議(常任委員会報告等)

上記は2018年10月12日現在の予定です。また、議会運営委員会は11月30日(金)に開催されます。

市政のここが気になる ①税金の使い道

「府中リベラル」で実施している市政アンケートの中から、「関心がある」と多くご回答いただいた項目を紹介いたします。

第1回目は「税金の使い道」です。

● 誰だって「無駄遣い」を許さない

今回のアンケートの選択肢に「市財政」があるのですが、それを大きく引き離す勢いで「税金の使い道」の票が伸びています。税収入よりも支出に関心が高いことが伺えます。



● 予算、決算、政務活動費のチェックを

府中市では、毎年3月の議会で予算、9月の議会で決算を審議します。そこで出た金額に加え、事業の適切性や進捗状況なども検証する必要があります。

また、毎年10月頃に公開される政務活動費も適切な使い道でなければなりません。市民の皆様が目、使い道を正すと言えるでしょう。

市政アンケート実施中。スマートフォンやタブレット端末をご利用の方は、右の二次元コードからご参加いただけます。



詳しくは

稲津けんご略歴

1968年北山町生まれ。現在は西原町在住。府中七小、和光中、都立狛江高卒。米・南アラバマ大学学士号および、米・ピッツバーグ大学院修士号取得。府中市議会議員現在4期目。

総務常任委員会、市庁舎建設特別委員会、議会運営委員会に所属。「府中リベラル」会派代表。

スマートフォンやタブレット端末をご利用の方は、右の二次元コードからも稲津けんご公式サイトにアクセス出来ます。



詳しくは

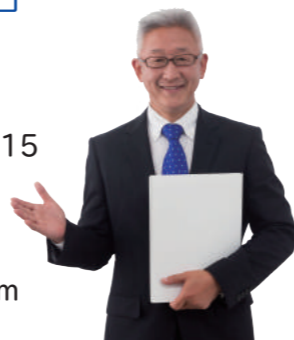
お問合せ・連絡先

● 『府中リベラル 市政レポート』へのお問合せ

編集・発行 府中リベラル
☎183-8703 東京都府中市宮西町2-24

● 稲津けんご 市政相談窓口

稲津けんご事務所
☎183-0041
東京都府中市北山町2-26-15
☎(042)806-9777
FAX (042)806-9770
✉ inazu.kengo@gmail.com



府中リベラル 市政レポート

府中市議会議員

稲津けんご

2018年
10月号



今号の主な項目

- 1面 タウンミーティング2018開催!!
- 2面 【一般質問】①猛暑と熱中症対策について
- 3面 【一般質問】②府中市の障がい者雇用について
- 4面 市政のここが気になる ①税金の使い道

第3回定例会開催・予決算審議も

府中市議会第3回定例会が、8月31日から9月28日までの日程で開催されました。

9月3日の一般質問で、稲津けんごは「猛暑と熱中症対策について」と「市の障がい者雇用について」の2件を質問し、市の対応や見解を迫りました。全国的に問題となったこともあり、これらの件については、他の議員からも質問が挙がりました。

また、9月19日に平成30年度補正予算を審議する予算特別委員会、同日から同26日までの5日間で平成29年度一般会計を審議する決算特別委員会が開催され、補正予算と決算とともに賛成多数で可決・成立しました。

● 第3回定例会 主な活動 ●

【8月】

31日(金) 本会議(議案の委員会付託等)

【9月】

3日(月)・4日(火) 本会議(一般質問)

※稲津けんごは3日に登壇 詳細は2・3面へ

5日(水) 総務委員会

12日(水) 市庁舎建設特別委員会

18日(火) 本会議(常任委員会審査報告等)

19日(水)～26日(水) 決算特別委員会

28日(金) 本会議(特別委員会審査報告等)

タウンミーティング2018開催!!

● 市内北西部、3ヶ所で開催

【西原町】11月5日(月)13:00～15:00

西原町自治会館(府中市西原町3-13-36)

ゲスト:衆議院議員 菅直人

【武蔵台】11月6日(火)10:00～12:00

都営府中武蔵台三丁目アパート集会室

(府中市武蔵台3-6)

ゲスト:府中市長 高野のりお

【北山町】11月7日(水)13:00～15:00

北山自治会館(府中市北山町3-20)

※各会場ともコーディネーター:稲津けんご

● ゲストスピーカーは見逃さない

西原町(11月5日)には菅直人衆議院議員、武蔵台(同6日)には高野のりお府中市長をそれぞれお招きします。

各会場とも入場は無料、ご予約も不要です。皆様のご参加をお待ち申し上げます。



菅直人
衆議院議員
(5日 西原町)

高野のりお
府中市長
(6日 武蔵台)



【一般質問】① 猛暑と熱中症対策について

稲津：今年の夏は異常なほどの暑さが続いたが、熱中症にかかった市民の状況は？

福祉保険部長：8月19日までの集計で救急搬送が140件で、昨年74件を大幅に超えた。年齢別では特に75歳以上が44件で、エアコンを稼働させていない、窓をあけていないなど、屋内での熱中症が多く見られた。

稲津：総合プールや地域プールで、利用中止となる事案が相次いだ。その状況と原因は？

文化スポーツ部長：今年度は、総合プールで6回、地域プールで2回中止した。中止の原因は

利用者の嘔吐による汚水の発生です。

稲津：今回のプール利用中止は猛暑にも要因すると思う。関連性を調査すべきと考えるが、市の見解は？

文化スポーツ部長：嘔吐者の状況を確認した際は熱中症にかかった市民はいなかったが、可能な範囲で検証していく。

稲津：府中市の猛暑対策を伺う。

高野市長：メール配信や広報ふちゅう等で注意喚起し、個別訪問や検診などで情報提供を行ない、各施設で冷房を使用し、市民を守っていく。

暑さ対策として市が出来ることとは？

●「起こりうる」の意識を強めた対策を

2018年の夏は、市内の屋外プールで利用中止となる事案が相次ぎました。稲津けんごは市に対して、熱中症が利用中止の一因ではないかと質問しました。

市は、聞き取り調査から熱中症とは関係無かったと発表しましたが、「この先も起こりうる」として、プールに限らず、熱中症への管理や情報提供などを行いたいという答弁がありました。稲津けんごは継続的な対応を市に要望しました。



● 通年で広く呼びかける方法を考える

熱中症に関する情報提供方法のひとつとして、市は「学校だより」を活用していることを公表しました。これについて、稲津けんごは「閲覧板などで市民が目にする機会があって良い」と高く評価しました。

また、稲津けんごは、毎年4月頃に全戸配布される『ふちゅう健康応援ガイド』での情報提供を提案しました。市は、熱中症の予防策も含めて掲載を前向きに検討すると述べました。



【総務委】同性パートナーシップ公的承認へ

●「2人の絆」は何よりも強し

9月5日に開かれた総務委員会では「同性パートナーシップ」の公的承認を求める陳情が議論されました。稲津けんごも含めた全委員が可決を求め、同18日開催の本会議で全会一致で採択されました。

同性パートナーシップに関する議論は過去にもありましたが、同性パートナーシップに対する理解や認識が深まった結果、この度の採択につながったと考えます。市は今後、公的承認に向けた動きを活発化させるでしょう。

● 異性間でのパートナーシップは？

府中市で同性パートナーシップの公的承認を求める陳情が採択されたことを受け、稲津けんごのTwitter(ツイッター)には、選択的夫婦別姓を希望する多くの方から「異性間でも同様に承認してほしい」という意見が寄せられました。千葉市では既に実施に向けて動いているという情報もあります。稲津けんごも府中市での実施に向け動きま



【一般質問】② 府中市の障がい者雇用について

稲津：昨今の報道で障がい者雇用の水増し問題が取り上げられた。現在、府中市の法定雇用率は2.5%となっているが、実際の雇用状況はどうなっているのか？

総務部長：本市の障がい者の雇用率は2.36%で、身体・知的・精神の障がい者手帳を持つ職員数は把握できていない。障がいを持つ職員の内、9名が短時間労働者である。

稲津：職員募集の状況を見ると身体障がい者のみとなっていた。何故か？

総務部長：知的・精神障害者の採用は業務内容

やサポート体制、特性への配慮、配属先の確保が課題となっている。

稲津：今後、知的や精神も含めて募集するよう検討すべきと思うが、市の見解は？

総務部長：これまでも障がい者を対象に雇用機会を図ってきたので、今後もこの採用方針を進める。

【右図の出典】独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構



「真の共生」を図れる職場づくりを

● 曖昧だった確認と算出の方法

中央省庁で相次いで発覚した「障がい者雇用水増し問題」を受け、稲津けんごは府中市での雇用状況を質問しました。市は、いわゆる「障害者手帳」を確認することなく雇用率を算出しており、改めて状況を確認すると答えるにとどまりました。

このことから、府中市における障がい者雇用率は目標数値に達していないものと推察されます。市は正式な調査結果を議会だけでなく市民にも報告すべきです。



● 障がいの種類を問わない雇用へ

府中市では現在、身体障がい者の採用枠を設けて職員採用を行なっています。稲津けんごはその枠を知的や精神障がい者にも拡大し、それぞれが出来る仕事で活躍出来る環境整備を行うべきであると主張しました。

民間でも障がい者雇用の拡大が求められており、市がそのモデルになるべきであることは言うまでもありません。今回の反省を受けて、市はよりいっそう本腰になって問題解決と実践に取り組んで欲しいものです。



【本会議】オスプレイ横田基地配備に配慮せよ

● 全会一致、異議なく可決

9月28日の本会議では、議員提出議案として「オスプレイの横田基地への配備に対する意見書」が審議され、全会一致で可決されました。可決を受け、意見書は内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣宛に提出されます。

この議案には、米軍に対して住民への正確な情報提供や安全策の徹底を求めることや、政府に対して生活に影響を及ぼす懸念が払拭されるよう最大限の努力を求めることなどが盛り込まれています。

● オスプレイ配備「反対」への第一歩

全国に拡大しているオスプレイは、安全性への不安や騒音などから、配備や飛行に反対する意見が根強くあります。稲津けんごも配備に反対する1人ですが、今回の議案は「配備反対への第一歩」と考えています。

そもそも、日本国内のオスプレイの配備については、十分な検証がなされぬまま、急いで行なわれているという印象があります。今回の議員提出議案に「反対」の強い文言はありませんが、抑止力として働くことを望んでいます。